

OSAKA SHIN-AI 愛友会会報 第15号 発行/大阪信愛女学院同窓会 大阪市城東区古市2-7-30



あしわけぶね

題字 故 田伏福男先生

ごあいさつ



大阪信愛女学院
中・高等学校
校長 繩田 諄子

二〇〇九年は、大阪信愛女学院にとって特別の年でした。設立母体・シヨファイユの幼きイエズス修道会・「いのちに奉仕」して百五十年、それを基盤にして誕生した大阪信愛女学院創立百二十五年。短期大学開設五〇周年と言う二重・三重の感謝と喜びに満たされた年でした。

ご来賓に近隣の方々をお迎えしての記念行事は、教職員及び保護者等学院関係者の手による温かみのあるものに終始致しました。近隣の方々と共に祝って頂けたことが何よりも喜びでした。しかし、「初めて学内に入らせて頂きました」「今までは、敷居が高くて入りにくかったです」など、近隣の方のお声に、日頃の気配りの薄さを実感したところでです。

大海もその一滴から——秋のチャリティバザーは、信愛生対象の奨学金制度立ち上げを目して実施しました。ついでながら、創立百周年の時には、チャドの子どものための教育資金に。創立者生誕百年祭の折には「城東区の子どもたち」のためにチャリティバザーを実施、その収益を生かすことができました。

これに対し同窓会・教育会・後援会のバックアップ。学生・教員一丸となって、目的に向かっての全力投

球。感謝の思いで一杯です。

百二十五周年の緞帳を下ろした今、常に、苦楽を共にして下さっている皆様方に、あらためて感謝の思いが沸き起こって参ります。そして、女子教育に献身された先人方に思いを馳せ、この後とも子女の育成に懸命でありたいと思っております。

愛友会の皆様の絶えざるご協力に感謝すると共に、今後もご指導をお願い申し上げます。

最後に皆々様の益々のご健康と、ご繁栄をお祈り申し上げます。ご挨拶に変えさせていただきます。

ごあいさつ



大阪信愛女学院
中・高等学校
副校長 松尾 誠

昨年度は、大阪信愛女学院創立百二十五周年、更に、大阪信愛女学院の創立母体であるシヨファイユの幼き修道会創設百五十年という記念の年を過ごしました。

この一年は、創立者の心である「いのちを育む信愛教育」をテーマとしていろいろな行事が推し進められた年でした。池長潤大司教様司式のもとに行われた五月の記念ミサから始まり、全学院が一体となった十月の記念バザー。そして、二月には、全教職員参加のみことばの祭儀などが続き、それらを契機に信愛教育の確認と更なる前進を目指した一年でした。

この様な記念の年を迎えることが出来ましたのは、先人の教職員、愛友会の皆様方、保護者の皆様方、多くの学院関係者の御陰と、心から感謝致しております。

この記念の年、中・高等学校の年間目標を「やさしい心をみんなの中に」と定め、笑顔溢れる学院の雰囲気づくりを目指しました。生徒たちは、記念行事等々を通して、目標達成のため積極的に取り組み、多くの方々から賛美の言葉を頂きました。この事は、愛友会の皆様によって継承されてきた信愛の良き伝統の一つの姿として、現在の大阪信愛女学院の教員として本当に嬉しいものでした。

新たに踏み出した百二十六年が、将来の大阪信愛女学院の栄光の一步となるよう、教職員一同、精一杯信愛教育に情熱を燃やして取り組み始めております。どうか、今後とも学院を温かく見守って頂きますよう、心からお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、愛友会総会に多くの方々に参加され、旧友を温められるとともに、「明日の信愛」へのご意見を頂戴出来れば幸いです。

総会によせて



愛友会会長
田中 初野
(高校18期)

愛友会会員の皆様には、平素より愛友会の活動にご理解とご協力

を戴きありがとうございます。隣りに一年が過ぎ、今年もまた総会案内「あしわけぶね」の発行をさせて戴く季節となりました。

開きかけた蕾も震える程の寒気に見舞われし朝、今年も一九二名の卒業生が、母校を巣立たれました。卒業式に参加させて戴き、いつも感じられますことは、信愛には、日本の良さが生きていくという事、卒業生としまして大変嬉しく自慢に思います。先生方には、これからも変わらぬ目線で生徒を見守っていただきたいと思ひます。

昨年は、百二十五周年の行事としまして、感謝ミサ・信愛フェスティバル・バザーが行われ、参加をさせて戴きました。卒業生皆様や先生方皆様のご協力のお陰をもちまして、愛友会のブースも、盛大な賑わいとなり収益を上げる事が出来ました。その折には、教育委員会の会長様や役員の皆様にもお世話になりました。又、バザーの収益は学院のお役に立てて頂けるよう寄贈させて頂きましたこと、紙面をお借り致しましてお礼とご報告を申し上げます。

本年度の総会は、五月三〇日(日)に大閣園・ゴールデンホールに於きまして開会の運びとなりました。第三部の講師には、シスター渡辺和子先生をお迎えしております。世代を越え「人として大切なこと」など、有意義な時間を過ごさせていただけますことを楽しみにしております。お友達をお誘いいただき、一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

平成22年度総会のお知らせ

場所

太閤園 2Fゴールドホール
(大阪市都島区網島町9-10 ☎06-6356-1110)

日時

平成22年 5月30日(日)
受付 10時30分 開会 11時
～総会次第～

- 第1部 11時～総会
- 第2部 11時45分～会食(和会席)
学校の状況及び来賓紹介
- 第3部 13時30分～14時30分

会費

10,000円

締め切り

4月30日(金)までに同封の振込用紙でお申込み下さい。振込用紙の控えは当日参加券になりますので必ずお持ち下さい。

※当日はお車での参加はご遠慮下さい。
諸々のご都合によりお車で参加される方は、飲酒は絶対にしないで下さい。

渡辺 和子

プロフィール

【出生地】北海道旭川市

【本籍】東京都

【生年月日】1927年(昭和2年)2月11日

【主な学歴・経歴】

1951年(昭和26年3月) 聖心女子大学卒業

1954年(昭和29年3月) 上智大学大学院卒業(西洋文化研究科修士)

1956年(昭和31年9月) ナミュール・ノートルダム修道女会に入会

1962年(昭和37年6月) 米国ボストンカレッジ大学院卒業(哲学博士)

(昭和37年9月) ノートルダム清心女子大学教授に就任

1963年(昭和38年10月) ノートルダム清心女子大学学長に就任

1990年(平成2年3月) 同上退任

(平成2年4月) 学校法人ノートルダム清心学園理事長に就任(至現在)

1992年(平成4年5月) 日本カトリック学校連合会理事長に就任

2001年(平成13年5月) 同上退任

【主な著書】

「人を育てる」(サンパウロ)

「美しい人に」「信じる『愛』を持っていますか」「愛をつかむ」「心に愛がなければ」

「愛をこめて生きる」「愛することは許されること」「目に見えないけれど大切なもの」

「人間としてどう生きるか」「愛と励ましの言葉366日」「忘れかけていた大切なこと」

「『人』として大切なこと」「愛と祈りで子どもは育つ」「幸せのありか」(PHP研究所)

「現代の忘れもの」(日本看護協会出版社)

【主な訳書】「マザーテレサ 愛と祈りのことば」(PHP研究所)

【その他】CD・カセット「いのちを見つめて」第5巻『愛をこめて生きる』
(ユーキャン出版局)

CD・カセット(渡辺和子講話集)全12巻(ユーキャン出版局)

DVD「キリストの香り」(4枚)(心のともしび運動本部)



- JR東西線大阪城北詰駅(3号出入口)より徒歩1分
- 京阪京橋駅(片町口)より徒歩7分
- 地下鉄長堀鶴見緑地線京橋駅(2番出口)より徒歩5分
- 市バス東野田停留所より徒歩3分

同窓会報告

カンナ会

十期生、三年B組のカンナ会です。
今年には宝塚市雲雀ガ丘花屋敷の「明月記」にてクラス会を行いました。

毎年十月に開催されるクラス会は十月の「神無月」にちなんでカンナ会と命名いたしました。卒業して五十二年の歳月が流れたとは誰一人意識もしていない若々しい人たちの集まりです。

宝塚在住の私が幹事をお引き受けするにあたっては、開催場所を主に宝塚、又は神戸方面に決めさせて頂いたことが、大阪の皆さんには新鮮で楽しみにされているようです。

会えばすぐ十八歳のころに戻ってしまう元気な姿が、この先もずっと続きますようにと祈るばかりです。

文



平成21年度 総会の様子

私は、高校卒業十八期生の二宮と申します。現在、和歌山の那智勝浦という所に住んでいます。ここは世界遺産(熊野古道)と那智の滝で有名な所です。年は、六十二才、どっぷりと老年期に入っています。

今回、同級生の山口美也子さんの講演があり、久しぶりに友好を温めたいと思いつきました。山口さんは、さすが女優でいらっしやるだけあり美しくしかも経験豊かで、あっという間に楽しいひとときが過ぎてしまいました。

私にとって三年間の学生生活で学んだ事は、人生においての礎となり貴重な財産となっています。そして六十才を過ぎて心身共に衰えを感じる昨今ですが、諸先輩方のいつ迄も凛として美しい姿は良き、お手本になりました。

最後になりましたが愛友会が、これからもますます発展し、引き継がれる事を心よりお祈りしています。本当にありがとうございました。



ご出席の諸先輩方に花束贈呈



講師 山口美也子 氏

バザーの様子

昨年十月三十一日(土) 大阪信愛女学院創立百二十五周年を祝って、「信愛フェスティバル百二十五のちの輝き」が開催されました。今回は、幼稚園から短大までの合同の文化祭となりました。

愛友会としては、例年通りバザーを開催しました。多くの卒業生の方々のご協力もあり、手作りのお品など沢山の品々を寄付して頂き豊富な種類のバザーとなりました。

お陰様で小さな可愛いお客様から、ご年配の方々までお越し頂き、大盛況を納める事ができました。

また、喫茶コーナーには、入れ立てのコーヒの香りに誘われて多くの方が立ち寄って下さり「美味しかったです。」とお声を掛けて頂きました。

昨年は早い時期から新型インフルエンザが流行し、予定通りに開催できるか不安もあり

ましたが、信愛を愛する方々のお力が一つとなり、無事に百二十五周年の記念するフェスティバルを成功させることが出来ました。

今年は、NPOスペシャルオリンピックックスに、寄付させていただき予定でございます。

多くの方々に感謝すると共に、これからの信愛女学院の益々のご発展を祈念致します。

次回バザーのため余剰品・手作り品のご協力をお願いいたします。

(随時受付けておりますので学校宛にお送りくださいませ)



役員一覧

愛友会本部役員

相談役	五代 和子 (高女32期)
会長	大野 寿子 (高女33期)
副会長	加田 壽美江 (高女33期)
書記	田中 初野 (高女18期)
會計	山本 安美 (高女15期)
會計監査	朝田 登美子 (高女18期)
幹事	廣澤 美和子 (高女18期)
	茂利 みどり (高女32期)
	橋本 幸子 (高女18期)
	岡本 幸子 (高女15期)
	田中 敬子 (高女11期)
	玉田 三智 (高女10期)
	東 秀子 (高女32期)
	西村 俊子 (高女33期)
	大利 美津子 (高女13期)

愛友会東京支部役員

幹事	加藤 美由岐 (高女32期)
顧問	小倉 八重子 (高女29期)
相談役	山田 敏子 (高女29期)
支部長	奥村 泰子 (高女3期)
副支部長	石原 裕子 (高女13期)
書記	野並 昌子 (高女13期)
會計	坂本 寿美恵 (高女9期)
監査	草葉 町子 (高女18期)
幹事	久野 幸子 (高女11期)
	上本 昌子 (高女11期)
	高橋 伸子 (高女27期)
	三谷 敏子 (高女38期)
	麻生 よし美 (高女17期)

学院創立百二十五周年 短期大学開設五十周年 記念講演会

『いのちを育む』

講師 細川佳代子氏



二〇〇九年十一月七日(土)、本学院講堂において学院創立百二十五周年・短期大学開設五十周年記念講演会が開かれました。NPO法人スペシャルオリンピックス日本名誉会長細川佳代子さんを講師にお招きし、『いのちを育む』というテーマで、人間の尊厳、生きるということ、また幸せとは何かについて講演いただきました。

細川さんは、元内閣総理大臣細川護熙夫人でいらつしやると共に、一九九四年「スペシャルオリンピックス日本」を設立されました。「スペシャルオリンピックス」は、知的発達障害のある人の自立と、社会参加を日常的な活動として実現する世界的な活動です。二〇〇五年二月に長野県で開催された冬季世界大会では会長を務められました。障害をもった子どもたちのために、多くの活動に従事されています。

今回のご講演では、ご自身の不思議なご縁や、スペシャルオリンピックス設立に至った経緯、アスリートを中心とした多くの交流にまつわるエピソードをお話し下さいました。

「強者が弱者を排除する国であつてはならない、誰もが幸せになるべき存在である」という強いメッセージとともに、無力に思える命も、いかに無限の可能性を秘めているか、また、人類はみなきょうだい、いのちとは支え合うことで輝きをますものである、というメッセージに多くの感動をいただきました。

講演終了後、「私たちがスペシャルオリンピックスのお手伝いをしたいです」という学生の声が聞かれ、できることから始めるボランティアの輪が広がり始めています。



愛友会ホームページ!

会員参加型ホームページ「bikita」開設!!

平成20年4月に愛友会ホームページをリニューアルしました。

そこで、同窓会会員からの情報発信をご提供する場、そして会員相互の交流の場として会員参加型ホームページという形に一新致しました。参加にはID、パスワードの入力が必要となりますが、同封しております振込用紙に各会員様のID、パスワードを記載しておりますのでそちらをご入力下さい。

今後、同窓会の活動のお知らせや案内は勿論、更なる会員相互の交流の場として会員の皆様と共に成長させていきたいと存じます。

どうか、同窓会の更なる発展とホームページの充実のため、皆様にご登録いただきますようお願い申し上げます。



ホームページ閲覧は

<http://www.bikita.jp/> よりアクセスしてください。

卒業記念品の贈呈

二月十九日(金)、卒業生一九二名の方に愛友会より、スプーンセットを記念品として送りました。おめでとうございます。この後、卒業ミサが講堂で行なわれ、後方より参加させて頂き、厳粛な中に明るさを感じました。



事務局からのお知らせ

○同期会やクラス会など開かれる機会がある場合は、母校の愛友会館でも同窓会が出来ますのでお問い合わせ下さい。又、宛名シール・案内ハガキなどのご用意も出来ますので、お気軽にご相談下さい。

また、愛友会の幹事会にも是非ご参加下さい。お待ちしております。

現住所・電話番号・氏名の変更がございましたら、同窓会事務局宛までお手数ですがお葉書・またはFAXにてご連絡下さい。(お電話ではお受けできません)

大阪信愛女学院同窓会事務局

T 536・8585

大阪府大阪市城東区古市2-7-30

電話番号 (06)69399・4391

FAX (06)69399・7161